

## 身近な税金

石垣市立石垣第二中学校 3年 磯部 桔花

私の住む石垣島の隣には竹富島という小さな島があります。竹富島は昔ながらの沖縄の町並みが有名で、毎年多くの観光客が訪れる島です。今回私がこの作文を書く為、母に身近な税金を聞いてみたところ、その竹富島で訪問税という税を設ける事を検討していると知りました。そこで私は訪問税について調べてみる事にしました。

まず訪問税とは島を訪れる人に課される税で去年巖島神社がある宮島で設けられた税です。現在竹富島では三百円の入島料を任意で徴収している様ですが任意の為、強制権が無く、徴収率は十四パーセントとかなり少ないようです。そこで訪問税が必要となります。ですが去年から訪問税を取り入れた宮島では一人一回の入島で百円が課されているところ竹富島ではその二十倍となる二千円もの訪問税を検討しているそうです。この竹富島の訪問税の用途は大きく分けて二つあります。一つ目は観光客が持ち込むゴミへの対応です。竹富島にも小型焼却炉はありますが、燃やすゴミしか処理出来ないためペットボトルや燃やさないゴミなどは一度石垣島へ運び、そこから西表島や沖縄本島に運ぶ必要があるそうで、ゴミ処理だけでも膨大な費用がかかってしまいます。二つ目は観光客が快適に過ごす為のインフラ整備です。例えば無料ワイファイの整備やトイレを洋式に改変すること、水道施設の改修等があります。しかし島民の間では二千円という高額な設定に対して賛否両論があるそうです。賛成側の意見としてはトイレなどの公共施設に使ってもらえるのであれば良いという意見や、このくらいの税を払ってでも入島する魅力があり、魅力を維持する為にも必要などという意見が出ています。一方で反対側の意見としては観光業に携わって生計を立てている町民からは税によっての観光客の減少に不安の声が多く上がっています。そしてこのような意見から訪問税を千円にすると決定したようです。

今回訪問税について調べてみて私は訪問税の導入に賛成です。なぜなら、今の竹富島の現状を理解してもらい、島民と観光客が快適に共存できたら良いと思うからです。また、現存全国の観光地で問題となっているオーバーツーリズムですが竹富島も例外ではありません。そこでこの訪問税を取り入れることによって小さな島と観光客のバランスが取れ、オーバーツーリズムの解消に繋がるのではないかと私は思います。

税と言われると難しく堅苦しいものという印象が付きやすいですが今回の訪問税だけではなく所得税や消費税などの全ての税も国や国民の生活等のために使われています。この美しい竹富島の守り方は時代の変化と共に変えていく必要があるのではないのでしょうか。